

## 2009年度 卒業論文講評

2010年2月 小関 隆志

### 竹内 祐貴「スポーツイベントを通じた企業・NPO パートナーシップの一考察」

スポーツを通して国際貢献——なんと素晴らしいアイデアでしょう。

スポーツを楽しみながら、それが途上国の子どもたちへの支援につながるとすれば、「国際貢献」などと構えなくても、身近なところから気軽に活動に参加できますね。

NPO を立ち上げて、そうした活動を立ち上げた大学生がいました。スポーツの好きな竹内さんは大学1年生のとき NPO の設立に参加し、活動を続けてきました。

スポーツ大会を開き、得られた収益を途上国に送る。その過程で、スポーツ企業やマスコミなどさまざまな企業の協力が欠かせません。竹内さんは実践のなかから、NPO と企業の協働の必要性と難しさを肌で実感し、それがこの論文へと結実しました。

竹内さんは自分の経験だけでなく、NPO のスタッフや企業の関係者に精力的に話を聞き、NPO の内部資料も駆使しながら詳しく調べました。それだけに、論文の内容は高い説得力を持っています。

また、NPO と企業の協働のタイプとして「チャリティ型」「トランザクション型」という区分を分析の視点に取り入れたことで、協働のあり方を深く洞察できたことも、優れた点だと思います。

論文の内容に NPO と企業の内部情報が含まれているため、残念ながら現時点では公開を見合わせますが、関心のある方はお問い合わせください。

卒業後も竹内さんには、こうした活動にぜひかわり続けてほしいと思います。